

令和3年度ナンバーワンスクール&ステップアップスクール
三好市立三野中学校

ナンバーワンスクール	領域	教育活動全般
	主題	心のこもったあいさつと無言清掃ができる， たくましさとしなやかさを備えた生徒の育成
ステップアップスクール	主題設定の理由	<p>本校の生徒は全体的には、きまりを守り、落ち着いた学校生活を送れているが、消極的で精神的に弱い生徒も少なくない。普段の生活でも、あいさつの声が小さかったり、授業中も集中力が続かない生徒が見かけられる。部活動の試合や対外的な活動でも、本来の実力が出し切れていないことも多々ある。また、小集団で人間関係が固定化したり、学力の二極化が見受けられる。</p> <p>そこで、教育活動の様々な場面で、基礎基本をしっかりと身に付けさせ、「知・徳・体」の調和がとれた、心豊かでたくましくしなやかな生徒を育成したいと考えている。</p> <p>そのために、「心のこもったあいさつ」と「無言清掃」を掲げ、まず「形から入り」そして「心を育てる」指導を、全職員が心を合わせ、日々の学校生活全体を通して指導をすすめる、「知・徳・体」のバランスのとれた生徒の育成をめざす。そして、保護者や地域から信頼される学校づくりに努めたい。</p>
	領域	<p>(知育) (徳育) (体育) その他 ()</p>
ステップアップスクール	主題	<p>1 学習意欲をもち、授業・家庭学習に進んで取り組む生徒の育成</p> <p>2 心のこもったあいさつができる生徒の育成</p> <p>3 無言清掃に意欲的に取り組む生徒の育成</p> <p>4 部活動や学校体育を通して心身ともにしなやかでたくましい生徒の育成</p>
	主題設定の理由	<p>1 学習意欲をもち、授業・家庭学習に進んで取り組む生徒の育成</p> <p>本校生徒の学力に関わる課題は、学習意欲の向上・学習習慣の確立に課題がある。そのためにも、授業における学習意欲を喚起するような指導方法の改善、家庭では、望ましい家庭学習の習慣の確立が必要である。そこで、学校経営の柱の一つにこの課題を掲げ、全校職員で共通理解して取り組んでいきたい。本校では、次のことを共通した取り組みとして授業を行っている。</p> <p>①授業の始めにねらい（めあて）をはっきりさせる。</p> <p>②授業の終わりに振り返り（まとめ）の時間を設け、家庭学習につなげる指導をめざす。</p> <p>③デジタル教科書・電子黒板・タブレットを積極的・効果的に活用する。</p> <p>④スマホ・ゲームの時間を減らす働きかけを行う。</p> <p>⑤学習規律の確立を徹底する。</p> <p>⑥英検・漢検等の受験率アップをめざす。</p> <p>2 心のこもったあいさつができる生徒の育成</p> <p>校内でのあいさつは、少しずつ習慣化している。部活動では、大きな声であいさつができていく。しかし、学校を離れると、地域の人たちにあいさつできる生徒はまだ少なく、あいさつの意義を理解して、あいさつが習慣化し、心のこもったあいさつができる生徒に育っているとは言い難い。地域の人にも、積極的にあいさつができ、校内でも笑顔でできれば、相手の気持ちを安心させ、さわやかにする。「こんにちは」とさわやかなあいさつが、学校内や地域で響き渡る学校にしていきたい。</p> <p>3 無言清掃に意欲的に取り組む生徒の育成</p> <p>掃除は、生活しやすい環境を維持するうえからも、また、整えられた環境が生徒たちの心を穏やかにするうえからも、学校教育の中で大きなウエートをしめている。そこで、本校では5年前から、掃除のレベルアップを目指して、「無言清掃」に取り組んでいる。掃除に一生懸命取り組むためには、おしゃべりはマイナス要因となることが多い。しゃべらない習慣を身につけることで、今まで見えなかった掃除をする場所も見えてくることもある。まず、「形」から入り、心を育てて行きたい。そして、掃除を与えられた日課としてではなく、掃除をしようとする意志や態度を育てて行きたい。自分から進んで汚れているところを見つけ、無言で時間いっぱい掃除をする生徒を育てることが、心豊かな生徒の育成にもつながると考えている。</p> <p>4 部活動や学校体育を通して心身ともにしなやかでたくましい生徒の育成</p> <p>体力は、すべての活動の意欲や気力の充実に関わっており、体力向上により、他の教育活動にも好影響を与えると考えた。そこで、基本的な生活習慣の確立（早寝、早起き、朝ご飯）や充実した体育の授業と部活動や自立した登下校（自転車・徒歩通学）を通して、体力向上につなげていきたい。</p>